

殺虫剤 MEP乳剤

スミパイン®乳剤

農林水産省登録 第15043号

性状：黄褐色可乳化油状液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：一般用(500ml) 3年

空散用(10ℓ) 1年

包装：500ml×20、10ℓ×1

有効成分：MEP (PRTR・1種) ……80.0%

スミパイン®は、住友化学(株)の登録商標です。

特長

- マツノマダラカミキリの成虫や幼虫以外にも、松を加害する広範囲の害虫の同時防除が可能です。
- マツクイムシ防除では、空中散布における「液剤少量散布」、「液剤散布」、「ガンズル散布方式」、「無人ヘリコプターによる散布」と多目的な使用が可能です。
- 散布された薬剤は樹皮などに速やかに浸透し、散布後の有効成分は降雨による流亡が少なく、安定した防除効果が期待できます。
- 有機溶媒を含まない製剤です。各種の試験において安全性が確認されています。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農業の総使用回数
いぬつげ	オオハリセンチュウ	500倍	3~5ℓ/株 但し、10ℓ/㎡まで	-	1回	単木処理	6回以内
まつ (生立木)	マツノマダラカミキリ成虫	150~200倍	3ℓ/本 (樹高10m)	成虫の発生初期及び発生最盛期直前	6回以内	散布	
		150~200倍		成虫の発生初期		空中散布(単木処理)	
		80~160倍		成虫の発生直前より発生最盛期直前		空中散布(10a当り投下薬量は本剤200ml、但し、微害林では130~200mlとする。)	
		4~6倍	800ml/10a	無人ヘリコプターによる散布			
		15~45倍	3~6ℓ/10a				
		60~180倍	12~24ℓ/10a				
18倍	3ℓ/10a						
まつ (枯損立木)	マツノマダラカミキリ幼虫	80倍	5ℓ/本 (樹高10m)	幼虫期(秋期)	6回以内	空中散布(単木処理)	
	マツノマダラカミキリ(材内生息虫)	80倍	5~10ℓ/本(樹高10m)	成虫の発生前(春期)			
まつ(衰弱木・枯損立木)	キクイムシ類 ソウムシ類	80~120倍	-	-	-	散布	
まつ	マツカレハ	1000~1500倍	6ℓ/10a	幼虫期	6回以内	空中散布	
		100倍					
		8倍					
まつ類	ハバチ類	100~200倍	3~6ℓ/10a	幼虫期	6回以内	空中散布(10a当り投下薬量は本剤30~60mlとする。)	
		1500~2000倍	-			散布	
		16倍	800ml/10a			空中散布	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農薬の総使用回数	
まつ類	ハマキガ類	1000～1500倍	-	幼虫期	6回以内	散布	6回以内	
		50～100倍	6ℓ/10a			空中散布		
	マツバノタマバエ	250倍	-	成虫の発生最盛期		散布		
	シンクイムシ類	250～500倍	-	幼虫期		空中散布(単木処理)		
	キクイムシ類	40倍	5ℓ/本(樹高10m)	成虫の発生初期		散布		
		1000～1500倍	-	幼虫期		空中散布(10a当り投下薬量は本剤100mℓとする。)		
			8倍					800mℓ/10a
30倍	3ℓ/10a							
まつ類(風倒木)	キクイムシ類	原液	750mℓ/10a	成虫の発生直前	空中散布			
樹木類(倒木、伐倒木)	カミキリムシ類(スギカミキリを除く)、ゾウムシ類、キクイムシ類	50～150倍	300～600mℓ/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期	6回以内	散布	6回以内	
	スギザイノタマバエ	50～100倍		樹皮下及び材内生息期				
樹木類(林木)	スギカミキリ	100～300倍	400～600mℓ/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期	成虫の発生初期又は直前	樹幹散布	6回以内	
		50～100倍						
	カシノナガキクイムシ	50倍	500mℓ/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	成虫の発生初期又は直前				
	スギザイノタマバエ	100～200倍	600mℓ/m ²					
	カミキリムシ類(スギカミキリを除く)、ゾウムシ類、キクイムシ類	50～150倍	300～600mℓ/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	幼虫期				
	ヤマダカレハ	1000倍	-					
	エダシヤク類	8倍	800mℓ/10a	幼虫期				散布
		30倍	3ℓ/10a					空中散布
	マイマイガドクガ類	1000～1500倍	-	若令・中令幼虫期				散布
		1000～1500倍	-					空中散布(10a当り投下薬量は本剤60mℓとする。)
	スギタマバエ	50～100倍	3～6ℓ/10a	幼虫期				空中散布
		8倍	800mℓ/10a					散布
ヒノキカワモグリガ	250～500倍	-	虫えい形成期	散布				
	200～300倍	-	成虫の発生直前～発生最盛期直前(6～7月)	樹冠及び樹幹に散布				
30倍	6ℓ/10a	空中散布						
	散布							
さくら	コスカシバ	100～300倍	成虫発生期	散布				
ほだ木	カミキリムシ類	350倍	300～600mℓ/m ² (樹皮表面積1m ² 当り)	成虫発生初期及び産卵期(ほだ木の伏せ込み期)	2回以内	散布(ほだ木及びほだ木用笠木を同時に防除する場合は希釈倍数を350倍とする。)	2回以内	
ほだ木用笠木		40倍						
樹木類	オオハリセンチュウ	500倍	-	移植前	1回	30分間根部浸漬	6回以内	

使用上の注意事項

- マツノマダラカミキリ成虫防除は後食防除を目的とし、成虫発生直前又は発生初期に時期を失しないように散布し、更に20日後(成虫発生最盛期直前)にもう一度散布すると効果的です。(効果)
- マツノマダラカミキリ成虫に対する150~200倍液の地上散布及び空中散布の単木処理をする場合、散布液量は、樹高10mの松1本当り3Lを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹冠部を中心に全面に散布してください。(効果)
- 空中散布による単木処理の場合は、専用の鉄砲ノズルを用い、対象木の樹冠部を中心に適確に散布してください。又60~180倍液(12~24L/10アール)で空中散布する場合は、限定された地域(林分)を対象として単木処理に準じた方法(鉄砲ノズル)で適確に散布してください。(効果)
- マツノマダラカミキリ幼虫に対する空中散布の単木処理をする場合、散布液量は、樹高10mの枯損立木1本当り5Lを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹幹と枝にむらなく散布してください。(効果)
- マツノマダラカミキリ成虫防除(空中散布)の場合の投下薬量は10アール当り本剤200mlを基準とするが微害林に使用する場合はその程度に応じて130~200ml内の一定量とする。投下薬量は、希釈倍数及び10アール当り散布液量を所定の範囲内で調節して所要の薬量になるようにしてください。(効果)
- 伐倒木処理の場合、厚皮部のカミキリムシ類やゾウムシ類には薬液を多目に散布してください。(効果)
- 伐倒木処理の場合、降雨直後または雨天の散布はさけ樹皮が雨などで濡れているときは乾いてから散布してください。(効果)
- さくらのコスカシバに対しては、その発生に応じて2~3回散布する。(効果)
- 大型散布機(ヘリコプターなど)で使用する場合は、各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
- アルカリ性の強い農薬との混用は避けてください。(分解)
- ひのきに対しては個体によって落葉、枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布してください。(被害)
- 対象樹種がヒノキの場合、一部のヒノキで落葉現象が生じることがあるので、あらかじめ切枝に薬剤を散布し、落葉が生じない樹であることを確認の上、散布してください。(被害)
- 樹幹散布に使用する場合、蘚苔類に被害を生じる場合があるので、散布液がかからないように注意してください。

空中散布を行う場合の注意事項

- 空中散布用薬剤として使用する場合は次の注意を守ってください。
 - 散布薬液の飛散によって他の動植物(特にあぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等の農作物、養蚕、養蜂)に影響を与えないよう散布区域の選定に注意してください。
- 空中少量散布(4~6倍液)に使用する場合はさらに次の注意を守ってください。
 - 微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - 散布中薬液の漏れないように、機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 特定の農薬(混用可能が確認されているもの)を除いて原則として他の農薬との混用は行わないでください。
 - 散布終了後は次の項目を守ってください。
 - ・使用後の空容器は放置せず安全な場所に廃棄してください。
 - ・機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

安全使用上の注意事項

- 誤飲に注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに眼科医の手当を受けてください。(弱い刺激性)
- 使用時は、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんなどでよく洗い、うがいをし、衣服を換えてください。
- 作業時の衣服などは他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 水源地、飲料用水、養魚池、養魚田等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、注意してください。
- 無人ヘリコプターにより散布する場合は、対象松林の梢端が見える場所で行ってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の葉菜にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合は使用しないでください。

- 街路、公園などで使用する場合は、使用中及び使用后(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払ってください。
- 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 空容器は植栽地や林地などに放置せず適切に処理してください。

治療法…硫酸アトロピン製剤又はPAM製剤の投与が有効。

魚毒性…空中散布の際は十分注意。

保管……密封(栓)し、火気をさげ、食品と区別して、直射日光のあたらない冷涼・乾燥した所。